

未来大賞

佐藤 有理

「『産まなければならない』呪縛への道のりと解放
一次世代の女性たちへのメッセージ」

<要旨>

「子供はもし縁があれば」と思っていたはずの私は、いつの間にか「産まなければならない」と思い込むようになってしまっていた。本レポートは、なぜ私がそのような呪縛にとられるようになったのかという過程と、その呪縛からどのように解放されたのかについて、ジェンダー視点をもちながら自身の経験を振り返り考察する。次世代の女性たちが、「～なければならない」と思い込んでしまうことで苦しみを感じる時、それは生まれながらに与えられた「女性」という性別も影響している可能性があることを認識できれば、その苦しみから解放されることがあると考える。このレポートがその解放の道へ何らかの貢献ができることを願っている。